

栄町商店街

(栄町商店街振興組合)

愛知県名古屋市

！取組のポイント

海外の商店街と姉妹提携を締結し、商店街を国際文化発信の拠点として位置づける事業を展開。

取組の背景

歩行者通行量、商品販売額が低下

近年、名古屋駅地区においては、2026年のリニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラ整備の検討や大型商業施設の建設が進んでおり、栄地区の相対的な求心力低下が懸念されている。栄地区全体の歩行者通行量が伸び悩む中、商品販売額についても低調に推移しており、名古屋駅からの人の流れを誘引するため、栄地区をホットな心温まる商店街として差別化を図り、「広小路通り」を歩いて楽しくなるストリートとするとともに、栄町商店街について都市・歴史文化や国際文化の発信拠点及び名古屋の「顔」としての認知度が向上するよう、求心力を高める必要がある。

取組の内容

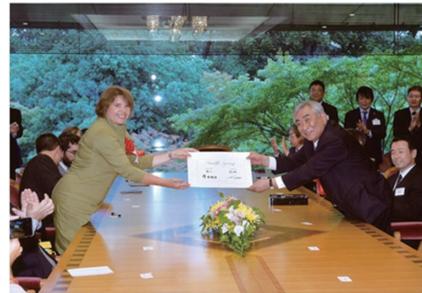
国際交流事業など、ユニークな取組を実施

国際交流拡大については、1998年にパリのモンテーニュ通り商店街と姉妹提携を締結し、2001年には姉妹提携5周年記念プレ交流会、2008年には姉妹提携10周年記念行事を開催し、文化交流を実施した。さらに、新たな国際交流事業として、2014年9月にベルギー・ブリュッセルのルイズ通り商店街と姉妹提携を締結し、3つの商店街がトライアングルとなって歴史文化交流を誓った。

パリのモンテーニュ通りとの姉妹提携5周年記念プレ交流会



ベルギー・ブリュッセルのルイズ通りとの姉妹提携の調印式



2015年は、「国際文化発信事業」の一環として、商店街を国際文化発信の拠点として位置づける事業を展開している。具体的には、広小路夏まつりの開催時期に合わせてブリュッセル州政府関係者を日本に招待し、日本においても調印式を実施したほか、ブリュッセル州政府から寄贈された小便小僧のモニュメントを設置し、除幕式を開催した。併せて「ベルギー・ブリュッセルフェア」と称したベルギーの食べ物や文化を紹介するイベントを、栄広場や栄町商店街内の百貨店で開催するなど情報発信を行った。

歩いて楽しくなるストリートづくりについては、64回を数える「広小路夏まつり」をはじめ、「冬のイルミネーション」を通じて、広小路通りを散策する魅力づくりに取り組んでいる。また、地元ゆかりのノーベル賞受賞者（益川敏英・小林誠・野依良治）の手形碑を設置し、域外からの来街者を集客できるよう景観整備を行った。

小便小僧のモニュメント



取組の成果

名古屋市中心市街地のにぎわいに貢献

国際交流拡大及び歩いて楽しくなるストリートづくりについては、ベルギー・ブリュッセルのルイズ通り商店街との姉妹提携がマスコミに大きく取り上げられ、愛知県内外からも観光・文化交流の拠点として注目を集めるようになり、名古屋市中心市街地のにぎわい創出に大きく貢献している。具体的には、栄町商店街における歩行者通行量が、商店街活性化事業計画策定時の2008年度には9413人/日であったのが、2014年度には1万181人/日まで増加している。

また、当組合では組合員に対してアンケートを行っており、2014年度には「来店者数が増加、または少し増加した」と回答する割合は70%、「売上高が増加、または少し増加した」と回答する割合は32%にのぼっている。

実施体制

当組合では、坪井理事長を統括とし、全体事業の方向性を組合員と協議しながら決定するとともに、イベントなどを企画する際は、最大限の効果が得られるよう、地方自治体・教育機関・NPO・地域住民（町内会）・近隣商店街と連携している。国際交流拡大の取組については、ベルギー・ブリュッセルのルイズ通り商店街との姉妹提携において、名古屋商工会議所や名古屋三越・大丸松坂屋・丸栄といった栄地区の百貨店と連携して関連イベントを実施した。ノーベル賞受賞者の手形碑設置をはじめとする手形イベント事業では、児童の参加を呼びかけるなど、地元の小学校と連携している。

ノーベル賞受賞者の手形碑



キーパーソンからのコメント

栄町商店街振興組合
理事長 坪井 明治



熱意が国際交流の原点

国際文化交流の原点は、新たな取組の必要性を感じ、歴史や文化のある世界の商店街から学ぶことが必要と考え、世界一の商店街と名高いパリのモンテーニュ通りとの提携を結ぼうと決めたことです。提携は苦勞の連続でしたが、助けてくれたのは栄町商店街の持つ尾張藩400年の歴史でした。モンテーニュ通りの360年を上回ったことで、「あなた方は私どものお兄さん」と姉妹提携を締結することができました。交流の継続は、名古屋とも縁が深いベルギーのブリュッセル・ルイズ通りとの姉妹提携にもつながりました。何が何でもという熱意と直ぐに行動に移すという姿勢が実を結んだと思っています。

将来に大きな財産を残す

栄地区は、芸術や公園もある開かれた商業ゾーンであり、名古屋の顔だと思っています。姉妹提携している海外の商店街とは、政治や経済の関わりだけでなく、お互いの良い所を学び合い、深い絆で結びついていければと思っています。

今後も、百貨店、町内、学区といった地域の諸団体と連携し、将来に大きな財産を残すという強い想いで国際文化交流を拡げ、多くの人を招く魅力あふれる栄地区にしていきたいと思えます。

基本データ

所在地	愛知県名古屋市中区錦
人口	約8万人(名古屋市中区)
電話/FAX	052-962-7143/052-955-0560
関連URL	http://www.sakaemachi-shotengai.com
会員数	67名
店舗数	109店舗(買回り品小売店24、最寄品小売店5、飲食店18、サービス店22、その他40)
商店街の類型	超広域型商店街
主な客層	学生・若者、家族連れ、観光客(海外)

商店街概要

栄町商店街は、江戸時代から庶民の娯楽の中心として栄える名古屋市都心部のメインストリート広小路通り沿道に立地し、1963年に組合を設立した。1975年以降、広小路通りのオフィス化が進展してからは、歩きやすく・楽しい街づくりを目指し、歩道スペースの確保、店舗の1階部分のショーウィンドウ化などを進めてきた。現在はオフィスが立ち並ぶほか、百貨店やブランド店が多数集積している。買い物場としてのみならず、文化や流行の発信の拠点としても重要な役割を果たしており、国内外から多くの幅広い客層を集めている。